

2019年12月26日

川崎市教育委員会
教育長 小田嶋 満 様

定時制高校を守る市民の会かわさき
代表 浅野 栄子

住所:川崎市宮前区

044-

定時制教育を充実させるための請願

～今ある川崎市立の夜間定時制高校を減らさず募集クラス数の削減もしないでください～

【請願の要旨】

- 1, 川崎市立川崎高等学校定時制の夜間部 2クラスの募集を停止せず今後も2クラス募集を継続してください。
- 2, 川崎市立高津高等学校定時制の募集クラスを減らさずこれからも3クラス募集を続けてください。
- 3, 勤務する先生方の負担軽減のため川崎市立川崎高等学校定時制の教職員定数を増やしてください。

【請願の理由】

川崎市教育委員会は11月20日の川崎市議会文教委員会に「市立高等学校改革推進計画第2次計画(案)」の報告をしました。この中で定時制については①川崎高等学校定時制の夜間部2クラスの募集を停止し同校昼間部のクラスを今の2クラスから4クラスに増やす②高津高等学校定時制(夜間)の3クラス募集を2クラスにするとしています。

昼働いている人だけでなく、不登校を経験した人や高校を中退した人、障がいのある人、外国につながるのある人、今まで学ぶ機会に恵まれなかった人などの、多様な人たちにとっての大切な学びの場になっている夜間定時制高校ですが、近くに夜間の定時制がなくなったり募集するクラス数が減ったりすると、希望する人にとっては入学することや通学することが困難になります。また1クラスの人数が多くなりすぎると、小規模だからこそ可能な現在の夜間定時制の良さが失われてしまいます。今までの川崎市立の定時制夜間課程をもつ学校数と募集クラス数を維持してください。

また昼間部と夜間部の両方を受け持つことで、過酷な勤務となっている教職員の負担軽減のために教職員定数を増やしてください。

なおこの件について教育委員会会議での意見陳述を希望します。

